
かかりつけ連携手帳（母子・育児）アプリについて

このアプリは妊娠・出産・育児の記録や、かかりつけの医療機関で受けた治療や処方
方の情報を本人、家族、医療のスタッフの皆で共有するためのものです。

●アプリの使い方

1. 初めてアプリを使うときには、妊娠や赤ちゃんの情報を
を入力します。



2. 病院で検診や診療を受けるたびに、お医者さんに
今までの診療情報やお薬情報を確認してもらいます。



3. 病院での検診や診療の情報、日々のお母さんや赤ちゃんの
状態をアプリに記録します。



●アプリの操作方法

- ・初めて使うときにはP.2
- ・基本情報を入力しましょうP.2
- ・マタニティダイアリーモードP.3
- ・育児日誌モードP.3
- ・赤ちゃんや妊娠中のお母さんの状態を記録しましょう
 - ・体温、体重などの測定値を記録するにはP.4
 - ・写真、メモ、スタンプを記録するにはP.4
- ・お薬や検査の情報を記録しましょう
 - ・QRコードを読み取って記録するにはP.5
 - ・市販薬のバーコードを読み取って記録するにはP.5
 - ・お薬情報を手入力で記録、修正するにはP.6
- ・データのバックアップ・復元について
 - ・ iCloud Driveまたはドキュメントへのバックアップデータ保存P.6
 - ・ iCloud Driveまたはドキュメントからのバックアップデータ復元P.7
- ・データの移行について
 - ・別の端末へのデータ送信P.8
 - ・別の端末からのデータ受信P.9

●初めて使うときには

初めて使うときには、画面の案内に従って以下の設定をして下さい。

1. パスワードの登録
2. 秘密の質問と答えの登録、確認
3. お名前の登録（マタニティダイアリーモードでは生まれてくる赤ちゃんの名前またはニックネーム、育児日誌モードでは生まれた赤ちゃんの名前）
4. 自己問診（任意）

1. パスワードの登録

2. 秘密の質問の登録

3. お名前の登録

4. 自己問診

●基本情報を入力しましょう

1. メインメニュー画面右下の「手帳選択」を選択します。
2. 手帳リストが表示されます。右上の編集ボタンを押して、編集モードに切り替えます。
3. 基本情報を入力したい人を選択します。
4. 基本情報を入力します。ここで「手帳モード」は必要に応じて「マタニティ」か「育児日誌」を選択します。マタニティダイアリーモードでは最終月経日と生まれてくる子の名前を入力し、育児日誌モードでは子どもの氏名、生年月日等を入力します。入力が終わったら右上にある完了ボタンを押して、手帳リストに戻ります。

1. 「手帳選択」を選択

2. 手帳リスト

3. 入力したい人を選択

4. 基本情報を入力

上：マタニティダイアリーモード
下：育児日誌モード

● マタニティダイアリーモード

マタニティダイアリーモードでは妊娠中の状態を記録します。メインメニュー上部にはお母さんの体重グラフとBMIの適正範囲が表示され、メニューから「マタニティダイアリー」を選択すると、マタニティダイアリーメニューが表示されます。赤ちゃんが生まれたら、メインメニュー右上の「誕生」ボタンを押し、赤ちゃんの氏名、生年月日等を入力して育児日誌モードに切り替ええると、引き続き育児日誌として使うことができます。



● 育児日誌モード

育児日誌モードでは赤ちゃんの状態を記録します。メインメニュー上部には赤ちゃんの身長・体重グラフと適正範囲が表示され、メニューから「育児日誌」を選択すると、育児日誌メニューが表示されます。

身長・体重グラフと適正範囲



● 赤ちゃんや妊娠中のお母さんの状態を記録しましょう

・ 体温、体重などの測定値を記録するには

1. モードに応じて、メインメニューから「マタニティダイアリー」または「育児日誌」を選択します。
2. 入力する項目を選択すると測定値入力画面が表示されます。
3. 日付、時間、測定値の欄を押すと入力画面が表示されます。入力が終わったら「完了」ボタンを押します。

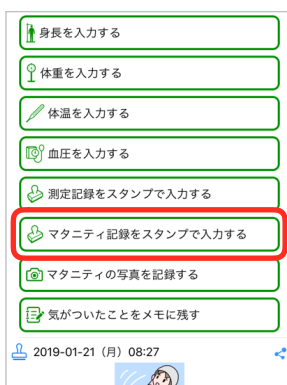
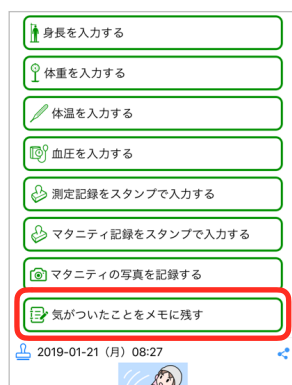
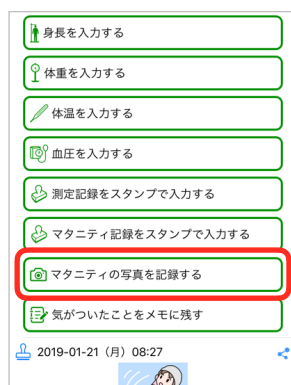


1. 「マタニティダイアリー」を選択
2. 入力する項目を選択 (マタニティダイアリーモードの場合)
3. 日付、時間、測定値を入力

・ 写真、メモ、スタンプを記録するには

- ・ 写真を記録する場合は、各メニュー画面で「写真を記録する」ボタンを押し、カメラでの写真撮影、ライブラリからの写真選択のいずれかを選択します。（かかりつけアプリで初めてカメラやライブラリを使うときには使用許可を求めるメッセージが表示されます）
- ・ メモを記録する場合は、各メニュー画面で「気がついたことをメモに残す」ボタンを押すと、メモの入力画面が表示されます。
- ・ スタンプを記録する場合は、各メニュー画面で「スタンプで入力する」ボタンを押し、記録するスタンプを選択する画面が表示されます。

※下記例は「マタニティダイアリー」メニューの場合



「写真を記録する」ボタン

「メモに残す」ボタン

「スタンプで入力」ボタン

スタンプ選択画面

● お薬や検査の情報を記録しましょう

・ QRコードを読み取って記録するには

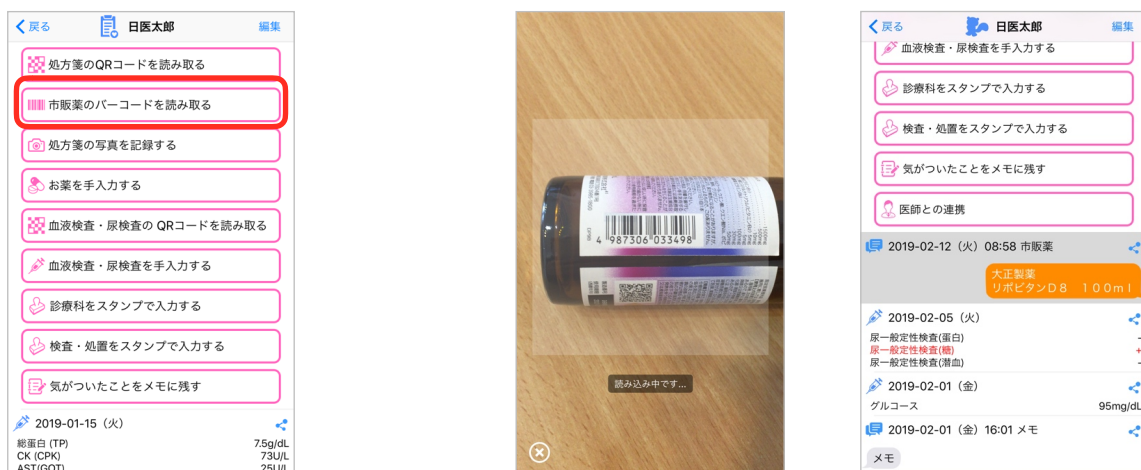
1. 処方箋QRコード：医療情報メニューから「処方箋のQRコードを読み取る」を選択します。
血液検査・尿検査QRコード：医療情報メニューから「血液検査・尿検査のQRコードを読み取る」を選択します。
2. カメラが起動し、QRコード読み取り画面になるので、スマホをQRコードにかざして読み取ります。（かかりつけアプリで初めてカメラを使うときには使用許可を求めるメッセージが表示されます）
3. 読み取ったQRコードの内容が記録されます。



1. 処方箋QRコードの場合、医療情報メニューから「処方箋のQRコードを読み取る」を選択
2. カメラをQRコードにかざす
3. 内容が表示される

・ 市販薬のバーコードを読み取って記録するには

1. 医療情報メニューから「市販薬のバーコードを読み取る」を選択します。
2. カメラが起動し、バーコード読み取り画面になるので、スマホをバーコードにかざして読み取ります。
3. 読み取ったQRコードの内容が記録されます。



1. 「市販薬のバーコードを読み取る」を選択
2. カメラをバーコードにかざす
3. 内容が表示される

- ・お薬情報を手入力で記録、修正するには

1. 「医療情報」メニューから「お薬を手入力する」を選択します。
2. 処方情報画面で「処方を追加」を選択してお薬入力画面を表示します。また、ここで処方された日付やアラームも設定できます。（お薬が1つも入力されていない場合は、次のお薬追加画面が自動的に表示されます）
3. お薬入力画面では、入力されたお薬情報の一覧が表示され、用法や処方日数を入力できます。「お薬を追加」を選択すると、お薬追加画面を表示します。
4. お薬追加画面では、お薬名や量、単位を入力し「登録・更新」ボタンを押すと情報が登録され、再びお薬入力画面に戻ります。



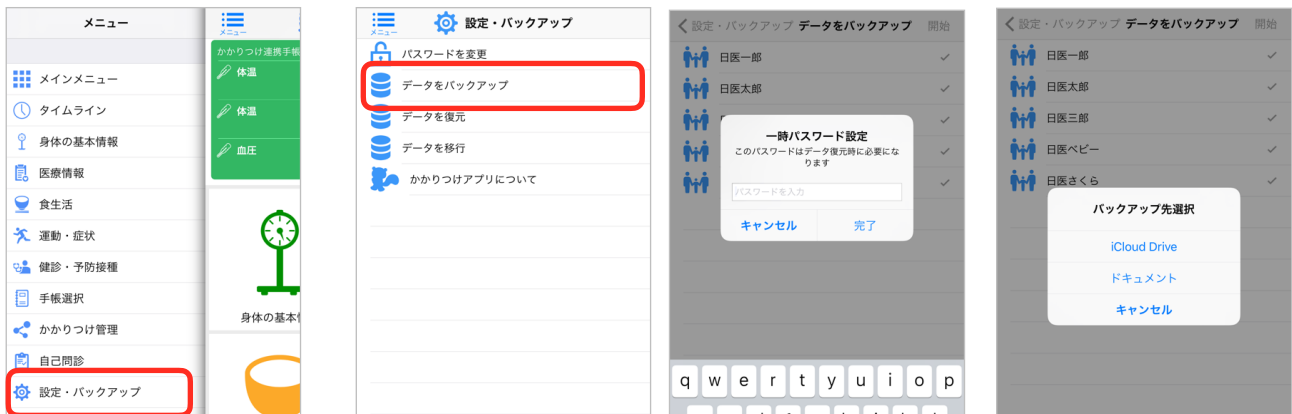
1. 「お薬を手入力」を選択
2. 「処方を追加」を選択
3. 「お薬を追加」を選択
4. お薬名などを入力

● データのバックアップ・復元について

データをバックアップしておくと、アプリの削除やiPhoneの機種変更をした場合でも、以前のデータを復元して使うことができます。iPhone版では、バックアップ先には、iCloud Drive、ドキュメント（iPhone内に保存）を選ぶことができます。

- ・ iCloud Driveまたはドキュメントへのバックアップデータ保存

1. データをバックアップするには、サイドメニューの「設定・バックアップ」から「データをバックアップ」を選択します。
2. データをバックアップしたいユーザーを選択し「保存」ボタンを押すと、バックアップデータを保護するための一時パスワードの設定画面が表示されるので、パスワードを設定します。ここで設定した一時パスワードは、データを復元する際に必要となります。
3. データ保存先を選択すると、バックアップデータが保存されます。保存先にドキュメントを選択した場合には、アプリをアンインストールするとデータも消去されるため、iTunesを利用してパソコン側にバックアップデータをコピーしておきます。
（※iCloud Driveを使用するには、iPhoneの設定でiCloud Driveを有効にする必要があります）



1. サイドメニューの「設定・バックアップ」を選択し、「データをバックアップ」を選択
2. バックアップするユーザーを選択し一時パスワードを設定
3. バックアップ先を選択

・ iCloud Driveまたはドキュメントからのバックアップデータ復元

1. サイドメニューの「設定・バックアップ」から「データを復元」を選択し、iCloud Driveまたはドキュメントを選択します。ドキュメントを選択する場合には必要に応じて、前もってiTunesでバックアップデータをiPhoneにコピーしておきます。
2. 復元するバックアップデータを選択します。
3. そのデータに含まれているユーザーが表示されるので、復元するユーザーを選択します。（複数選択可。該当ユーザーのデータが既にiPhone内に存在する場合には、データを選択することはできません。）
4. 一時パスワードの入力画面が表示されるので、データをバックアップするときに設定した一時パスワードを入力するとユーザーのデータが復元されます。



1. 「データを復元」を選択し、データの保存場所を選択
2. 復元するバックアップデータを選択
3. 復元するユーザーの選択
4. 一時パスワードの入力

● データの移行について

かかりつけ連携手帳では、データを他端末に送信することもできます。

・ 別の端末へのデータ送信

1. サイドメニューの「設定・バックアップ」から「データを移行」を選択し「別の端末にデータを送る」を選択します。
2. データを移行するユーザーを選択し、一時パスワードを設定します。
3. 認証コードを取得するために、SMS（ショートメール等）を受け取ることができる電話番号を入力します。
4. 「認証コードを送信しました」というメッセージが表示されたらOKを押します。
5. 認証コード入力画面で送られてきた認証コード（4桁の数字）を入力し「OK」を押すとQRコードが表示されるので、このQRコードを移行先の端末で読み取ります。
なお、QRコードの有効期間は10分間です。10分以内にQRコードを読み取り、データの移行を完了して下さい。



1. サイドメニューの「設定・バックアップ」を選択し、
「データを移行」→「別の端末にデータを送る」を選択



2. バックアップするユーザー
を選択し一時パスワード
を設定



3. SMSで認証コードを受け
取る電話番号を入力



4. 認証コード送信のメッセージ



5. 送られてきたSMSに記載され
ている認証コードを入力

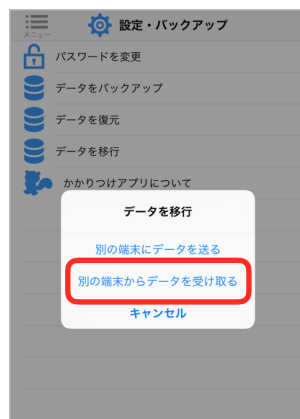
・別の端末からのデータ受信

※ データを受信する前に移行元の端末で、上記「別の端末へのデータ送信」の操作を行い、QRコードを表示させておきます。

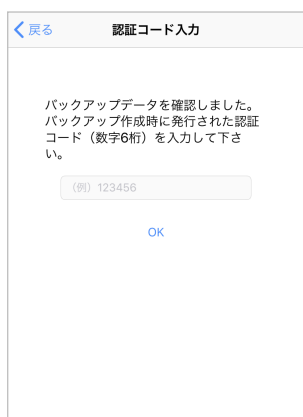
1. 移行先の端末では、メニューの「設定・バックアップ」から「データを移行」を選択し「別の端末からデータを受け取る」を選択します。
2. 移行元の端末に表示されたQRコードを読み取ります。
3. QRコードを読み取ると認証コード入力画面が表示されるので、移行元の端末にSMSで送られてきた認証コードを入力します。
4. データに含まれているユーザーが表示されるので、データを移行するユーザーを選択します。（複数選択可。該当ユーザーのデータが移行先のiPhone内に既に存在する場合には、データを選択することはできません。）
5. 一時パスワードの入力画面が表示されるので、移行元の端末で設定した一時パスワードを入力するとユーザーのデータが移行されます。



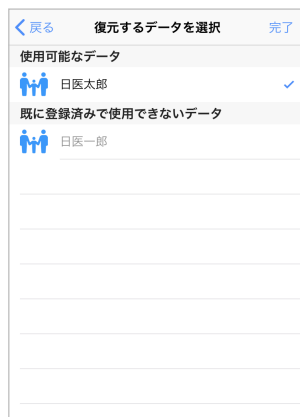
1. サイドメニューの「設定・バックアップ」を選択し、「データを移行」→「別の端末からデータを受け取る」を選択



2. QRコードの読み取り



3. 認証コードの入力



4. 移行するユーザーの選択



5. 一時パスワードの入力

※ 移行されたデータはサイドメニューの「手帳選択」から確認することができます